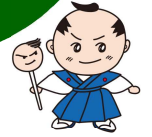




初日の出
 新庁舎からの初めての正月となった1月1日朝。屋上から初日の出を撮影しました。気温は1・7度、西の風でやや寒く感じましたが、上空は快晴、水平線上に少し雲がある程度でした。屋上は旧庁舎よりも高い位置となり、視程が良い日は鹿行地域の工業団地の煙突の煙もみることができず。

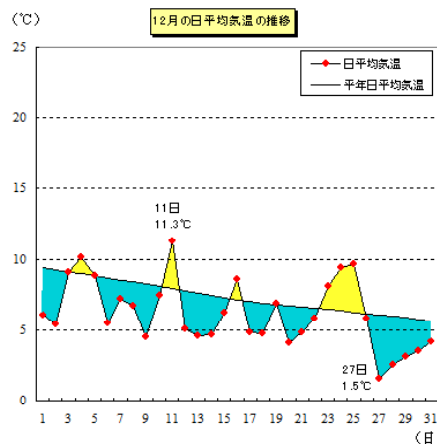


2018年 1月号



十二月の気候

12月は、平均気温が6・1度と平年より1・2度低くなりました。寒気が入り、冬の気圧配置となる日が多かったため、日照時間は207・7時間と平年の112%、一方、降水量は、20・5ミリと、平年の47%でした。



1カ月予報 (気象庁発表)

1月は平年と同様に晴れの日が多く、1月を通すと平年並の気温や降水量が予想されています。13日からの1週間は寒気の影響を受けにくく、気温が高くなりますが、20日からの1週間は寒気の影響で気温が低く、気温の変動が大きくなりそうです。
 日々の日立市の天気予報は、天気相談所から毎日発表しています。

天気相談所のあゆみ

日立市天気相談所とは
 天気相談所は生活環境部環境政策課内の機関として位置づけられています。日立鉱山の煙害対策用の気象観測所を引き継いで、昭和27年6月1日執行の「日立市天気相談所設置条例」により設置されました。



天気相談所の業務は、「気象観測」「天気予報」「情報提供」の3つに大きくわけることができます。これらの業務は毎日行っており、昭和27年の設立以来、一日も休むことなく続いています。

「気象観測」

目視の観測と観測機器による自動観測を行っています。市役所のほか、市内6箇所に観測機器を設置しています。

「天気予報」

天気予報を行うための気象庁の許可を取得し、日立市を対象とした明後日までの予報を1日2回行っています。

「情報提供」

予報や観測結果をホームページや電話により提供しています。防災会議での報告や出前講座も実施しています。

天気用語の基礎知識

冬

最低気温が0度未満になった日。0度未満なので0度は含みません。なお、氷点下と言った場合は0度を含みます。日立市役所では12月頃になると現れてきますが、本山や西部支所などでは11月から現れます。



真冬日

最高気温が0度未満になった日。一日中気温がマイナスだった日です。日立市役所では過去の観測したことはありません。最高気温の最低は0・2度です。

しかし、本山や西部支所では年に数回現れることがあります。

………神峰の山から………

「ある町の天気相談所」として、気象や天気相談所について知ってもらうために、毎月1回の予定で発行していく予定です。「天気相談所のあゆみ」のコーナーでは、あまり知られていない、天気相談所の業務や歴史について紹介していきたいと思っています。

天気の疑問や知りたいことがありますしたら、御連絡ください。今後の内容に反映していきたいと思っています。